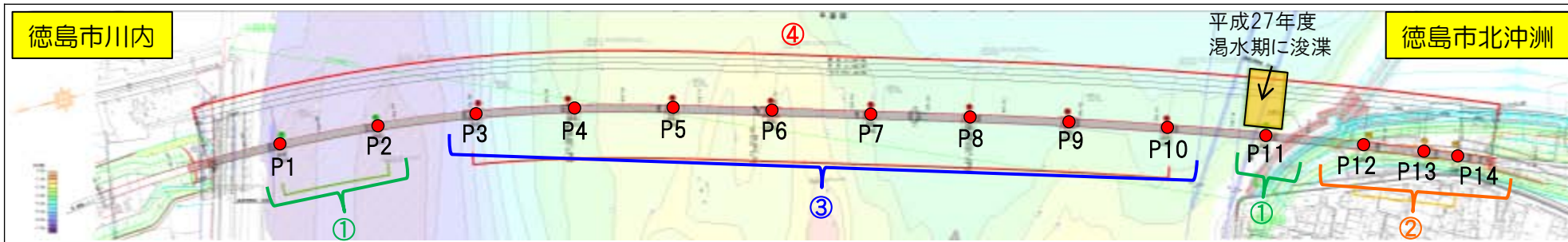

2. 工事の実施状況（平成27年11月～平成28年5月）

■2-1 工事の実施状況①

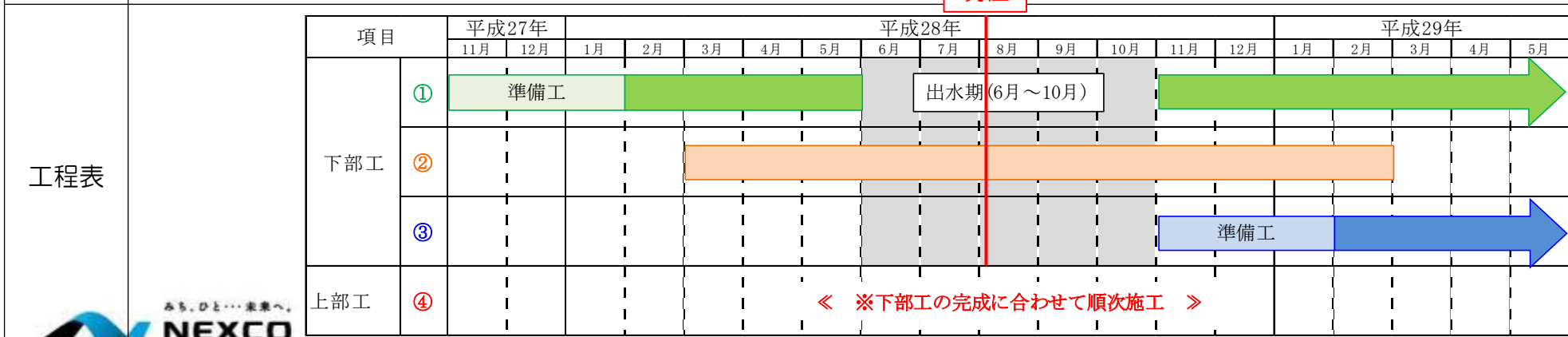


平成27年11月より開始した工事の実施状況を以下に示す。 ※P1, P2, P11の工事を実施した。



下部工	①について(P1, P2, P11) 平成27年度濁水期より工事着手し、平成28年度濁水期にて完成予定。なお、浚渫作業はP11脚箇所のみ実施した。
	②について(P12, P13, P14) 平成27年度末より工事を実施中。
	③について(P3~P10) 平成28年度濁水期から順次工事を実施する。

上部工 ④上部工整備
下部工の完成に合わせて順次工事を実施する。

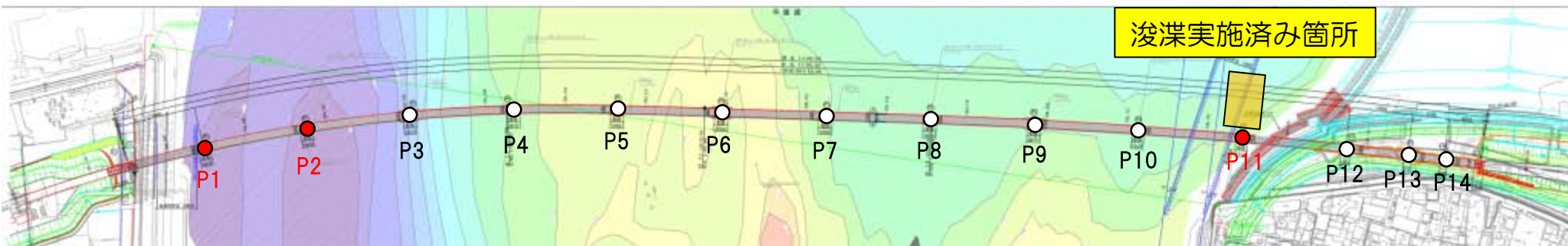


■2-2 工事の実施状況②



平成27年11月より開始した工事の実施状況を以下に示す。

- ①工事は予定通り、両岸にあるP1, P2, P11について施工を実施した。
- ②平成28年5月末時点では、鋼管矢板井筒基礎まで工事が完了した。



浚渫実施済み箇所

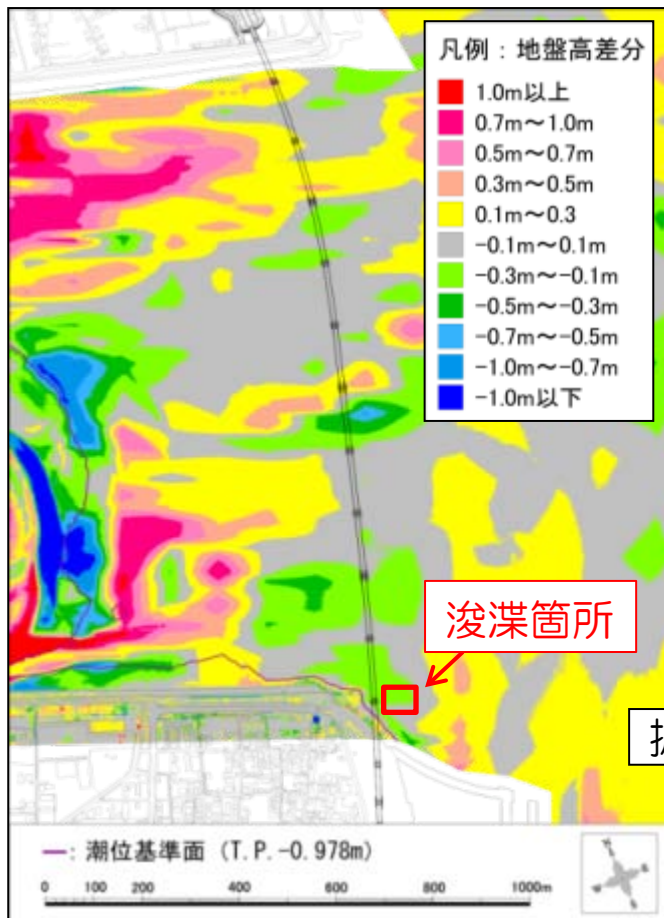
●：施工中箇所
○：未施工箇所

■2-3 P11周辺の浚渫に関して



浚渫範囲の想定については、平成27年6月の地形調査結果に基づき検討していたが、平成27年10月の地形調査の結果では、浚渫予定箇所の高度がやや低くなっていることが確認され、浚渫量が想定よりも少なくなった（1,730m³）。また、環境保全対策として浚渫した土砂は陸上げしており、今後、盛土に転用する予定としている。

■H27.6とH27.10の地形差分図

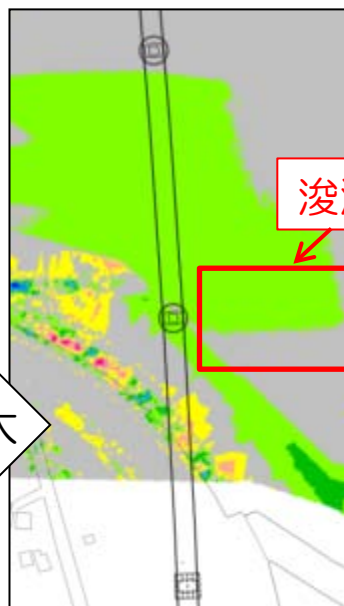


拡大

■P11浚渫量 (m³)

項目	予定数量	実施数量	差分
設計数量	4,050	3,274	-776
余掘数量	3,967	3,013	-954
計	8,017	6,287	-1,730

※浚渫した深さは概ね1.5m程度であった。



H27.10月では計画時点の6月よりも10～30cm程度、低くなっていた。

■2-4 工事における環境保全対策① ～騒音対策～

工事では、水質と騒音・振動の環境保全対策を実施した。

■消音装置・防音シートによる騒音・振動軽減



防音シート



消音装置

鋼管矢板打設状況（油圧ハンマ）

■2-5 工事における環境保全対策② ～水質汚濁対策～

■汚濁拡散防止膜による濁りの拡散抑制

